

新型コロナウイルス感染症対策

学校における新型コロナウイルス感染症対策の考え方については、感染リスクの高い活動に注意しつつ、時々の地域の感染状況に応じた感染対策を徹底し、学校教育活動を継続していくことが重要です。変異株であっても、「3つの密」(特にリスクの高い5つの場面)の回避、マスクの適切な着用、こまめな換気、手洗いなどの基本的な感染症対策が推奨されています。感染者を一人でも多く減らしていくため、適切な危機意識を持って、感染症対策に取り組んでいく必要があります。また、学校関係者に感染が確認された場合には、感染者や濃厚接触者である児童生徒等が、差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などの対象にならぬよう、十分な配慮・注意が必要です。

(学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル(2022.4.1 Ver.8)より)

★**感染源を絶つ** 外からウイルスを持ち込まないことが重要です。

①発熱や倦怠感、喉の違和感などの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合には、児童・教職員ともに自宅での休養を徹底すること。

・登校前に担任はLEBERで児童の健康状態や欠席状況を把握する。登校時に児童は石けんで手を洗う。

・教職員は毎朝、健康チェックを行い、LEBERに入力する。出勤時は玄関で手指消毒を行う。

②登校後に風邪症状がみられる場合には、児童を安全に帰宅させ、症状がなくなるまでは休養する。

・登校後に体調不良を訴えた児童は、保健室で対応後に熱が無くても保護者に迎えにきていただく。

・熱がある場合には保健室以外(会議室等)で待機し、他の児童と接触しないよう配慮をする。

★**感染経路を絶つ** 新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。

①6つのタイミングに石けんで手洗いをして清潔なハンカチで拭く。

手洗いの6つのタイミング

②給食当番は手指消毒をする。黙って準備をして、黙食をする。

③うがいや食後の歯みがきで口腔内の清潔を保つ。

④手指で目、鼻、口をできるだけ触らないようにする。

⑤咳エチケットを徹底する。(マスクは鼻を出さずに正しくつける)

⑥換気や日常の清掃により清潔な空間を保つ。(もくもく清掃)

⑦大勢がよく手を触れる(ドアノブ、手すり、スイッチなど)は消毒を適切に行う。



★**身体全体の抵抗力を高める** 睡眠、適度な運動及びバランスの取れた食事が大切です。

・規則正しい生活、身の回りが清潔な生活を送る。心の健康を保てるようにする。

①学級で「うまききたえて」の指導を継続的に行う。

う うがいをする ま マスクをする く 空気の入替え(換気)をする き 規則正しい生活を送る
た 体力をつける え 栄養のバランスをとる て 手洗いをする

②学級で差別・偏見・いじめ防止の指導を行う。

子供たちが感染症に対する不安から陥りやすい差別や偏見などについて考える。

★**集団感染のリスクへの対応** 3つの条件(密閉、密集、密接)が重なる場で、集団感染のリスクが高まるとされています。

①密閉の回避(換気の徹底)

・常時、廊下の窓や教室等のドアと窓を開けて2方向換気を行う。体育館では窓や扉を開けるようにする。

②密集の回避(身体的距離の確保)

・人との間隔は、できるだけ2メートル(最低1メートル)空ける。じゃれ合うような行動は避ける。

③密接の場面への対応(マスクの正しい着用と適切な扱い)

・人との間隔が十分とれない場合はマスクを着用し、外す際にはゴムやひもをつまんで外し、なるべく表面に触れず、内側を折りたたんで清潔な袋や布等に置くなどして清潔を保つ。

参考文書:「オミクロン株に対応した学校における対策の徹底について(R4.2)文部科学省より」